

株主の皆さまへ

# 第5期報告書

(平成22年4月1日～  
平成23年3月31日)



## 企業理念

北海道に根ざした

総合ヘルスケア企業グループとして  
健康を願う人々を支えつづけます



### contents

- ① 企業理念／グループ概要
- ③ 株主の皆さまへ
- ⑤ セグメント情報
- ⑦ 連結財務諸表
- ⑨ トピックス／会社情報  
／株式の状況  
(会社概要／役員／株式の状況  
／大株主の状況／株価の推移)

私たち、「ほくやく・竹山ホールディングス」は、  
「健康社会のパートナー」を掲げる  
生命関連事業の担い手として  
この企業理念のもとに、経営の透明性や倫理観を堅持し、  
ご満足いただける多様なサービスや機能のご提供と、  
更なる経営の効率化を目指して  
三つの“しんか（進化・深化・真価）”を続けてまいります。

## グループ概要

株式会社ほくやく・竹山ホールディングスグループは、基本の理念である「北海道に根ざした 総合ヘルスケア企業グループとして 健康を願う人々を支えつづけます」を実現するために、グループ全体としての顧客基盤と北海道を網羅す

るネットワークを最大限に活用して、地域密着・コミュニケーションNo.1企業として、医薬品事業・医療機器事業・調剤事業・介護事業・その他の各種サポート事業などでヘルスケア市場全体を支えてまいります。



## グループ構成図



株主の皆さまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り心から御礼申し上げます。  
 この度の東日本大震災により被災された皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。  
 ここに当社第5期報告書をお届けいたします。



代表取締役 社長執行役員  
**眞鍋 雅昭**

わが国経済は、世界的な金融危機の広がりから端を発した海外景気減速の影響を受けながらもアジア諸国を中心とした海外需要増による生産・輸出の回復や政府景気対策の効果もあり、企業収益にも改善の兆しが見えておりました。

しかし、震災の影響による経済活動の鈍化によって、依然として先行きが不透明な経済状況にあり、閉塞感はさらに増しております。

一方でこのような状況下で生まれた社会の不安感、「生命と健康の安全と安心」や「高齢者の方々の介護」への国民的な関心を高め、社会保障や年金のありかたについても見直しが求められています。またその財源問題につきましても、健康な社会づくりの必要コストであると同時に、雇用の確保や地域経済活性化のための積極的な社会的投資としても認識されてきております。

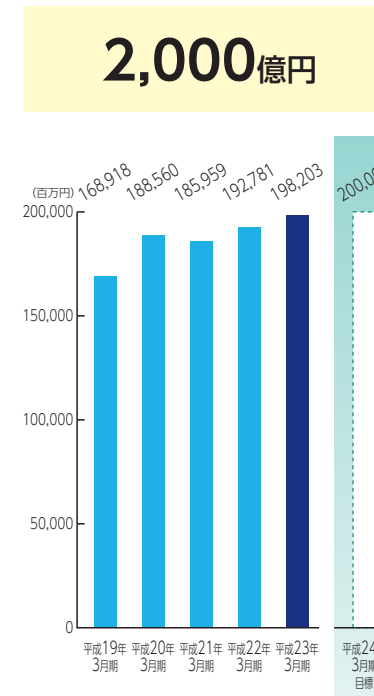
このような環境の中、私たち「ほくやく・竹山ホールディングス」は、北海道のヘルスケア市場において、患者さんや利用者の皆さんとご家族、そして、医療・介護を提供される方々の視点に立ちながら、“ホールディングスはひとつ”を合言葉に、グループ各社が各事業の専門性を強化しつつ、業種の枠を越えた業際シナジーの実現によって、高い利便性、効率性を備えた新たなビジネスモデルや多様なサービス機能を皆さまにご提供できるよう努力を続けてまいります。

## 目標とする経営指標

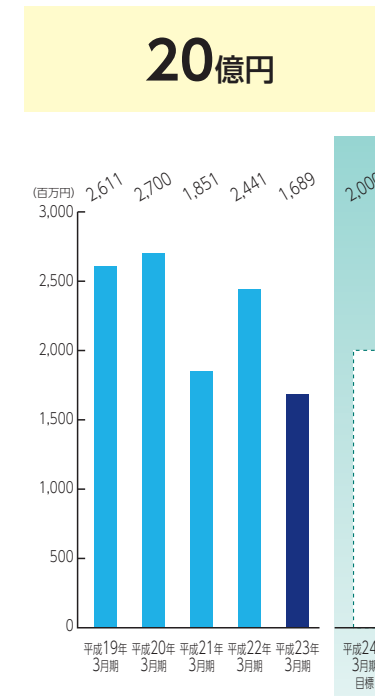
当社グループは、平成24年3月期を中期経営計画の最終年度として、グループ連結売上高2,000億円、経常利益30億円、ROE(自己資本当期純利益率)4.0%を目標に掲げ推進してまいりましたが、当社のコア事業である医薬品および医療機器事業を取り巻く環境の変化が予想以上に大きく、当初の目標数値の達成が難しくなっております。

これらの環境変化の影響を勘案し、中期経営計画の最終年度の目標を、グループ連結売上高2,000億円、経常利益20億円、ROE(自己資本当期純利益率)2.6%といたします。

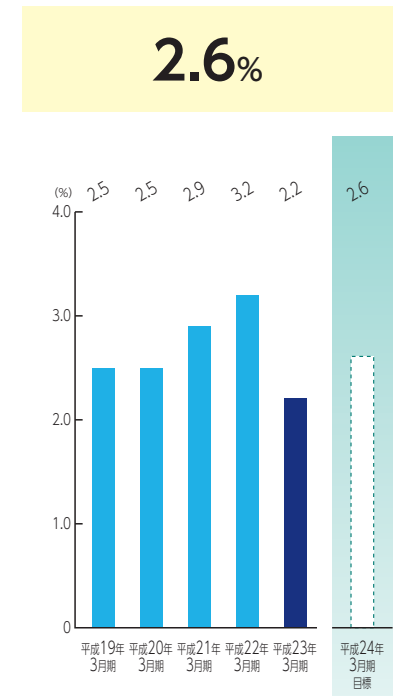
### 売上高



### 経常利益

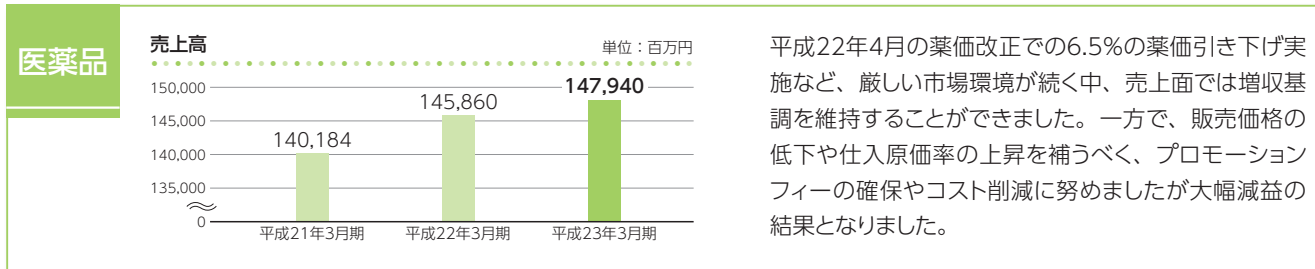
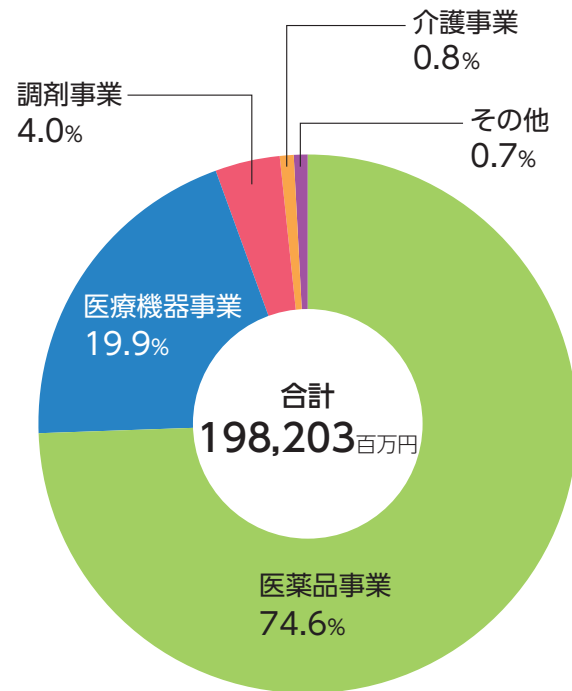


### ROE(自己資本当期純利益率)

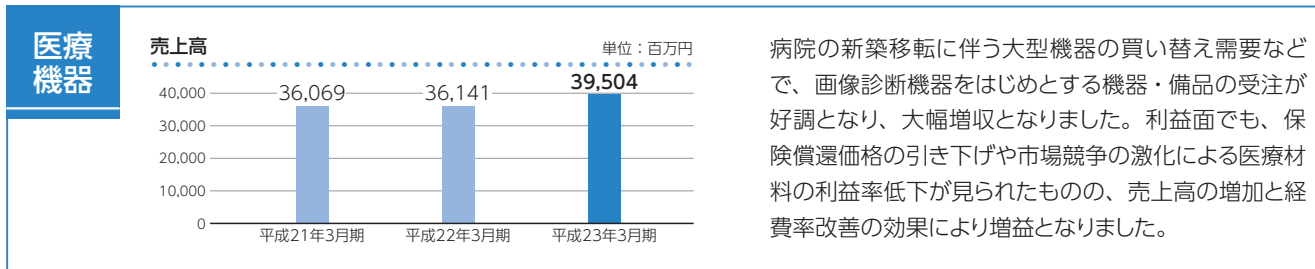


セグメント情報 (売上高構成比※)

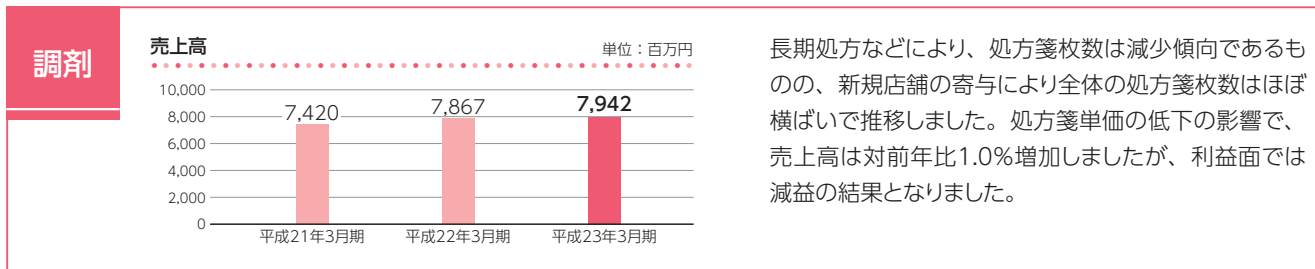
※外部顧客に対する売上高



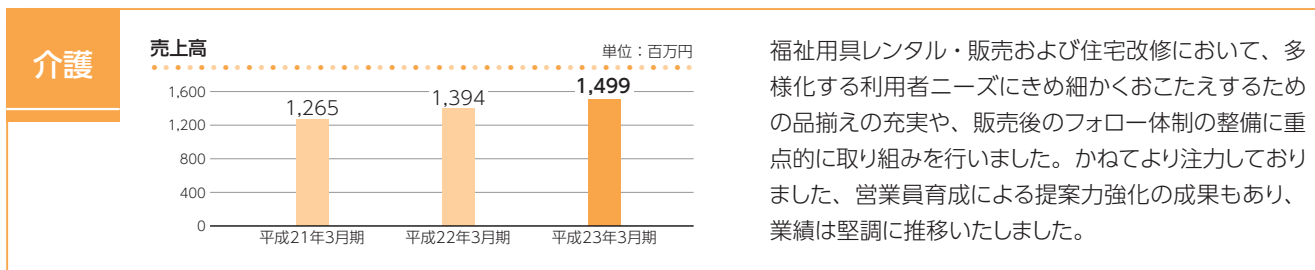
平成22年4月の薬価改正での6.5%の薬価引き下げ実施など、厳しい市場環境が続く中、売上面では増収基調を維持することができました。一方で、販売価格の低下や仕入原価率の上昇を補うべく、プロモーションフィーの確保やコスト削減に努めましたが大幅減益の結果となりました。



病院の新築移転に伴う大型機器の買い替え需要などで、画像診断機器をはじめとする機器・備品の受注が好調となり、大幅増収となりました。利益面でも、保険償還価格の引き下げや市場競争の激化による医療材料の利益率低下が見られたものの、売上高の増加と経費率改善の効果により増益となりました。



長期処方などにより、処方箋枚数は減少傾向であるものの、新規店舗の寄与により全体の処方箋枚数はほぼ横ばいで推移しました。処方箋単価の低下の影響で、売上高は対前年比1.0%増加しましたが、利益面では減益の結果となりました。



福祉用具レンタル・販売および住宅改修において、多様化する利用者ニーズにきめ細かくおこたえするための品揃えの充実や、販売後のフォロー体制の整備に重点的に取り組みを行いました。かねてより注力しておりました、営業員育成による提案力強化の成果もあり、業績は堅調に推移いたしました。

#### TOPIC

- 平成22年9～11月 (株)竹山において、札幌市内の4支店1営業課を「札幌業務センター」に集約。業務効率の向上はもちろん、情報共有と連携によってより一層精度の高いサービスをご提供してまいります。

#### TOPIC

**新店舗オープン**

- 平成22年5月 パルス薬局野幌店 (江別市)
- 平成22年6月 北日本調剤 南21条調剤薬局 (札幌市中央区)
- 平成23年3月 北日本調剤 まこまない調剤薬局 (札幌市南区)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期		前期	
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>80,292</b>	<b>75,901</b>	<b>流動負債</b>	<b>64,116</b>
現金及び預金	17,632	15,278	支払手形及び買掛金	62,247
受取手形及び売掛金	43,720	43,932	未払法人税等	149
商品及び製品	13,340	11,525	賞与引当金	675
繰延税金資産	453	533	返品調整引当金	45
その他	5,170	4,687	その他	998
貸倒引当金	△ 25	△ 55	<b>固定負債</b>	<b>1,676</b>
<b>固定資産</b>	<b>23,198</b>	<b>23,391</b>	繰延税金負債	442
有形固定資産	13,259	13,090	退職給付引当金	245
建物及び構築物	6,168	6,060	長期未払金	579
土地	6,667	6,491	① 資産除去債務	202
その他	424	538	その他	206
無形固定資産	1,413	1,618	<b>負債合計</b>	<b>65,793</b>
のれん	152	261		
ソフトウェア	1,126	1,230	<b>(純資産の部)</b>	
その他	134	126	<b>株主資本</b>	<b>38,064</b>
投資その他の資産	8,524	8,682	資本金	1,000
投資有価証券	6,979	6,951	資本剰余金	12,756
長期売掛金	676	660	利益剰余金	24,733
破産更生債権等	57	39	自己株式	△ 425
長期貸付金	203	259	その他の包括利益累計額	△ 365
繰延税金資産	108	104	その他有価証券評価差額金	833
その他	951	1,111	土地再評価差額金	△ 1,198
貸倒引当金	△ 451	△ 445	<b>純資産合計</b>	<b>37,698</b>
繰延資産	1	3	<b>負債・純資産合計</b>	<b>103,492</b>
<b>資産合計</b>	<b>103,492</b>	<b>99,296</b>		

Point① 資産除去債務

当期より、資産除去債務に関する会計基準が適用されました。これにより「資産除去債務」として202百万円を計上しております。

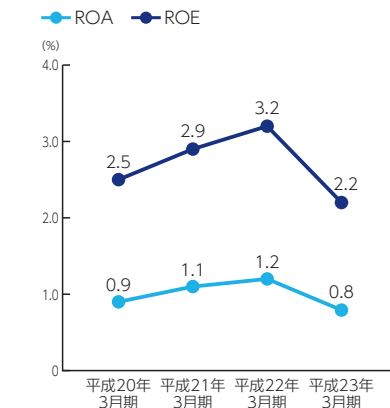
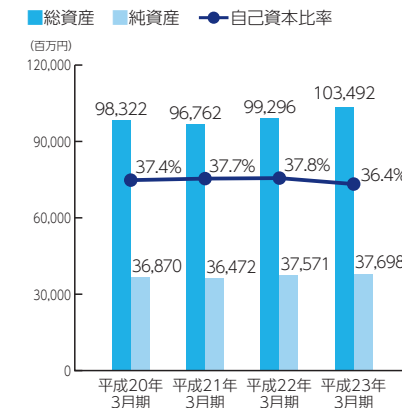
連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期		前期	
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
売上高	198,203	192,781		
売上原価	183,678	177,466		
売上総利益	14,524	15,314		
販売費及び一般管理費	13,484	13,523		
営業利益	1,039	1,791		
営業外収益	838	800		
営業外費用	187	149		
経常利益	1,689	2,441		
特別利益	54	217		
特別損失	263	216		
② 税金等調整前当期純利益	1,480	2,443		
法人税、住民税及び事業税	452	1,386		
法人税等調整額	202	△ 122		
少数株主損益調整前当期純利益	825	—		
当期純利益	825	1,180		

Point② 特別損失

減損損失121百万円および、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額37百万円を計上しております。



ROA：総資産利益率  
ROE：自己資本当期純利益率

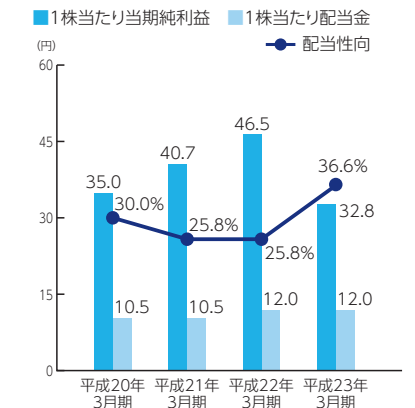
連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

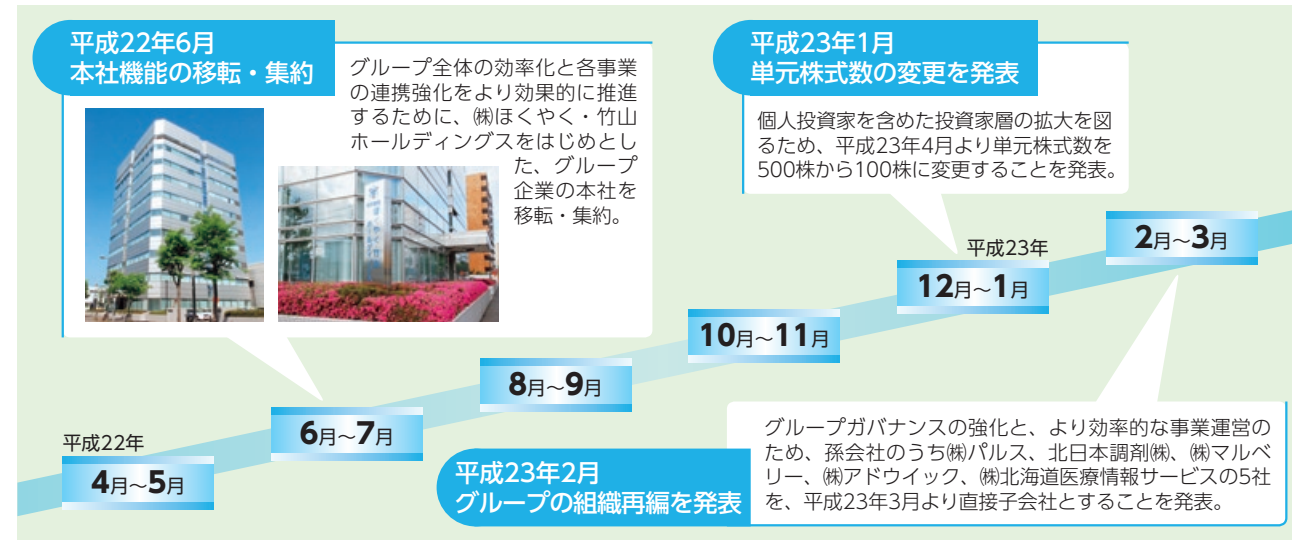
科目	当期		前期	
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,513	1,569		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,681	△ 1,713		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 479	△ 669		
現金及び現金同等物の増減額	2,352	△ 813		
現金及び現金同等物の期首残高	15,141	15,954		
現金及び現金同等物の期末残高	17,493	15,141		

Point③ 経営指標

- (1) 1株当たり当期純利益32円83銭
- (2) ROE (自己資本当期純利益率) 2.2%
- (3) 自己資本比率36.4%



トピックス



健康おうちごはんレシピ

暑さ本番を控えたこの時期。梅干が主役のレシピで疲労回復。

梅干の酸っぱさの基になっているクエン酸は、体内で食べ物を分解してエネルギーを生み出すための代謝過程に関わり、代謝をスムーズにする働きがあります。そのため、疲労物質をためこまず体外へ排出する働きがあり、特に疲れやすいこの時期に梅干を使った食事は効果的です。

梅干とみょうがのすまし汁

～衰えた食欲と体を梅干の有機酸で回復

材料 (2人分)	
梅干…4個	うす口しょうゆ…小さじ2
みょうが…2個	みりん…小さじ1・塩…少々
だし汁…カップ2	油揚げ…1/2枚

- みょうがはせん切りにして水に軽くさらし、水けをきる。
- 鍋でだし汁を煮立て、うす口しょうゆとみりん、塩で調味する。
- 椀に梅干を指で軽くつぶして入れ、みょうがと油揚げも入れ、2の熱い汁を注ぐ。

イカ梅マヨ和え

～梅マヨドレッシングであっさり

材料 (2人分)	
イカ…1パイ	マヨネーズ…大さじ1
スナックエンドウ…50g	プレーンヨーグルト…大さじ1
梅干…1個	塩・こしょう…少々

- イカは食べやすい大きさに切り、さっと茹でる。
- スナックエンドウは両側の筋を取り除く。たっぷりの熱湯に塩を加えてスナックエンドウを入れ、1～2分固めに茹で、ザルに上げる。
- 梅干は種を除いて包丁で叩き、マヨネーズ、プレーンヨーグルトを混ぜ合わせ(梅マヨドレッシング)をつくる。
- 1、2を3のボウルに入れ、よく混ぜ合わせる。



(写真手前右より時計まわりに)切り干し大根の梅煮、梅干とみょうがのすまし汁、鶏ささみパン粉焼き、イカ梅マヨ和え

※この他のレシピも当社ホームページ「ほくたけ広場」でご紹介しております。  
<http://www.hokutake.co.jp>

会社概要 (平成23年3月31日現在)

商号	株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス (呼称:ほくたけ) (英文名 HOKUYAKU TAKEYAMA Holdings, Inc.)
事業内容	医薬品・医療機器の卸売事業を主として行う子会社の株式を保有することによる当該子会社の事業活動の支配・管理等
設立年月	平成18年(2006年)9月
本社所在地	札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
電話番号	011-633-1030
資本金	10億円
従業員数	87名(8名)※ほくたけグループ全社 1,178名(650名) (注)従業員数は就業人員(当社グループからグループ外部への出向者は除く)であり、臨時雇用者数(臨時社員を含む)は、年間の平均人員を( )外数で記載しております。
主要取引銀行	北海道銀行／北洋銀行／みずほ銀行 三菱UFJ信託銀行

役員 (平成23年6月29日現在)

代表取締役社長執行役員	眞鍋 雅昭
代表取締役専務執行役員	眞鍋 雅信
取締役専務執行役員	眞茂 野護
取締役専務執行役員	小酒 井重久
取締役常務執行役員	久門 重孝
取締役常務執行役員	中高 西徹
取締役常務執行役員	眞鍋 和知
取締役常務執行役員	眞巖 友弘
取締役執行役員	竹山 茂樹
取締役執行役員	笠井 芳賢
社外取締役	鈴木 村恭
社外取締役	吉村 新一
常勤監査役	古井 正成
社外監査役	坪井 沼美
社外監査役	丸尾 正則
執行役員	菊地 保美
執行役員	出島 正秀
執行役員	中田 秀晴

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

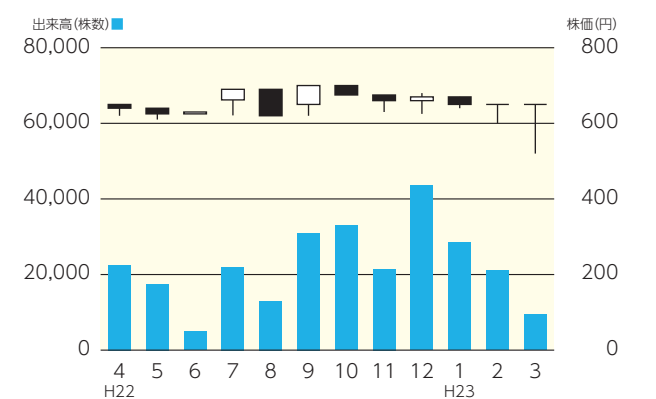
発行可能株式総数	1億株
発行済株式の総数	25,976,221株
1単元の株式数 (平成23年4月1日より1単元の株式数を100株に変更しております。)	500株
株主数	942名

大株主の状況 (平成23年3月31日現在)

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	持株比率
有限会社いつわ企画	2,678	10.66%
アステラス製薬株式会社	1,499	5.97%
有限会社タスク企画	1,408	5.61%
田辺三菱製薬株式会社	1,176	4.68%
ユービーエスエージーロンドン アカウントアイピービーセグリゲイテッドクライアント アカウント	1,087	4.33%
株式会社北海道銀行	896	3.57%
株式会社北洋銀行	808	3.22%
株式会社アステム	677	2.70%
ほくたけ従業員持株会	672	2.68%
イーザイ株式会社	546	2.17%

(注) 1. 当社は、自己株式を859,886株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



## 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催時期 毎年6月
- 株主確定基準日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日  
期末配当金受領株主 3月31日  
中間配当金受領株主 9月30日
- 単元株式数 100株  
(平成23年4月1日より500株から100株に変更いたしました)
- 証券銘柄コード 3055
- 上場取引所 札幌証券取引所
- 株主名簿管理人 兼 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
電話(フリーダイヤル) 0120-232-711
- 公告方法 電子公告

### 株式に関する手続きについてのご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本店でお支払いいたします。

### ○特別口座に記録された株式の各種手続きのご請求方法

- ・ 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479
- ・ インターネットによるダウンロード <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>



株式会社ほくやく・山竹ホールディングス

〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1-5  
TEL. 011-633-1030 FAX. 011-633-1034

## ホームページのご案内

当社ホームページに、  
最新のIR情報を掲載しています。

<http://www.hokutake.co.jp>



### 将来見通しに関わる記述についての注意事項

本報告書で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おさください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しにのみ全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関するご判断は、ご自身にてなされますようお願いいたします。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。